

ご契約いただいているお客さまへ

台風がくる前に・・・

災害への備えと被害に遭われた際のご案内

日頃は弊社に保険契約を賜り、厚く御礼申し上げます。

台風による暴風や大雨は家屋や家財、車などの所有物に大きな被害をもたらします。また、大きなケガを被ることもあります。テレビ・ラジオやインターネットなどによる気象情報・防災情報に十分ご注意ください。不要不急の外出は控える他、いざという時には、周囲の人にも声をかけ、躊躇せず避難しましょう。

お住まいになられている地域へ台風が接近する、というニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。

準備しておく備えと、また、万一被害に遭われた場合の連絡方法をご案内いたします。

1. 家の外の備えをしましょう

家屋の被害を防ぐため、準備をしましょう。

■ 大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。



2. 家の中の備えをしましょう

家財の被害やライフラインの停止に備え、準備をしましょう。

■ 室内からの安全対策

- 飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

■ 非常用品の確認

- 懐中電灯・携帯用ラジオ・救急薬品・衣類・非常用食品・携帯ボンベ式コンロ・貴重品など
(※あらかじめ非常用のリュックサック等にまとめておくと便利です。チェックリストをご使用ください。)

■ 水の確保

- 断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。



非常用リュックサック

食料品等

- 飲料水
- 乾パンやクラッカーなど
- レトルト食品、缶詰
- 粉ミルク、哺乳ビンなど



日用品

- ナイフ、缶切り
- 鍋や水筒
- 懐中電灯
- ラジオ
- 電池・携帯用充電器
- ロープ
- マッチやライター
- 使い捨てのカイロ
- ティッシュなど
- 筆記用具
- ごみ袋

衣服

- 下着
- タオル
- 寝袋
- 雨具
- 軍手
- 靴

医薬品等

- 救急医薬品
- 常備薬
- マスク
- 紙おむつ
- 生理用品

貴重品、お金

- 現金（小銭も）
- 預金通帳など
- 印鑑
- 健康保険証など
- 身分証明書



3. 車も避難させましょう

車の保管場所が浸水する場合があります。安全な高台等に移動させて保管しましょう

4. 車の運転時には注意しましょう

車の運転時には、以下の点に注意しましょう。

- 不要不急の運転は控える
- 車の運転をする場合

- 走行中に強風でハンドルを取られたり、ガラスが割れる恐れがあるため、速度を落として十分に注意する
- アンダーパス（立体交差道路のひとつ）や高低差のあるガード下など、水がたまりやすい場所には絶対に入らずに迂回する（※冠水してしまった場合は、エンジンをかけずにディーラーや修理工場へ相談する）
- 橋の上、トンネルの出口、海岸沿い、山間部の谷間、ビル街は強風になりやすいので注意する

5. 避難場所を確認しましょう

避難時にあわてぬよう、地域の避難場所を確認しましょう。

- 避難場所の確認

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。



6. 住んでいる場所の危険度を調べましょう

地域がどのような災害が起きやすいか確認しましょう。

- 国土交通省や地域の防災担当が発信している防災情報の確認

- ハザードマップポータルサイト（国土交通省）<https://disaportal.gsi.go.jp/>



7. 被害に遭われた際の保険のご連絡

被害に遭われた際には、インターネットにてご連絡を承っております。

- インターネット（弊社ホームページ）

<https://www.aig.co.jp/sonpo/service/contact/internet>

